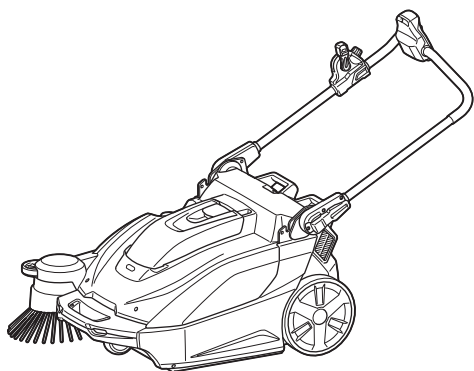


Makita

取扱説明書

充電式スイーパ

モデル VS001G



このたびは充電式スイーパをお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本製品の性能を十分ご理
解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただき、いつまでも安全に能率よく
お使いくださるようお願い
いたします。

なお、この取扱説明書は
お手元に大切に保管して
ください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	15
別販売品のご紹介	17

ご使用前の準備

組み立て	19
バッテリーの充電	22
バッテリー/充電器の取り扱い	24
使用前に知っておいていただきたいこと	25

使い方

バッテリーの取り付け/取りはずし方法	29
本製品の操作	32
・メインブラシの高さ調整	32
・サイドブラシの使い方	35
・サイドブラシの高さ調整	36
・コントロールパネルについて	38
・作業方法	41
・ダストコンテナの使用方法	43
・ダストバッグ（別販売品）の使用方法	45
・多機能アダプタ（別販売品）の使用方法	49
・ポータブル電源ユニット（別販売品）の取り付け/ 取りはずし方法	51
・マックバック（別販売品）の取り付け/ 取りはずし方法	55
使用後の取り扱い	56
・ゴミの捨て方	56
・本製品の保管	58

保守／点検

保守	59
点検	68
消耗品の交換・補充	69
故障かな？と思ったら	70

はじめに

主要機能

主要機能		モデル
電動機		VS001G
使用可能バッテリー		DC ブラシレスモータ リチウムイオンバッテリー 対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧		直流 36 V (40 V max) ※ 1
清掃能力 ※ 2	サイドブラシ未使用	1,920 m ² /h
	サイドブラシ使用	2,600 m ² /h
清掃幅	サイドブラシ未使用	480 mm
	サイドブラシ使用	650 mm
ダストコンテナの容量		24 L
防じん・防水保護等級		IP56

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2：歩行速度 4 km/h を想定しています。

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

本製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4025 1 個使用時	29 kg	ハンドル垂直時： 830 mm × 677 mm × 1,146 mm
BL4080F 2 個使用時	33 kg	ハンドル折畳み時： 830 mm × 677 mm × 467 mm

1 回の充電での作業量（参考値）

- ・ 数値は参考値です。

使用バッテリー	モード	連続作業時間
BL4050F × 2 個	標準	120 分

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- <異常・故障例>
- ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式スーパ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式スーパとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちに作動スイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ メンテナンス時、粉じんの多い作業や汚染された可能性のある場所を作業する際はマスクや保護メガネなどの適切な保護具を併用してください。
3. 人やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
4. ポータブル電源ユニットを背負ったまま本製品を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
5. ポータブル電源ユニットを使用する場合、配線を正しく配置してください。
 - ・ 配線に引っかかり転倒する恐れがあります。
6. バッテリアダプタは使用しないでください。
7. 本製品は乾式専用です。推奨する作業以外には使用しないでください。
 - ・ 本製品に負荷が加わり、事故やけが、故障の恐れがあります。
8. 爆発性および発火性の環境下では使用しないでください。

⚠ 警告

9. 以下のものは清掃しないでください。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

10. 汚染された可能性のある場所や粉じん環境を清掃する際はサイドブラシは使用しないでください。

11. 本製品を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。

- ・ 感電や故障の原因になります。

12. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。

- ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

13. 誤って落したり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

- ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

14. 本製品に表示されている勾配以上の斜面では使用しないでください。

- ・ 転倒などの恐れがあります。

15. 雨天時や濡れた路面では使用しないでください。

- ・ モータ焼損など、故障の原因になります。

16. コードやひも、ワイヤなどのひも状のゴミはメインブラシに絡まる恐れがあります。清掃前に取り除いてください。

- ・ 故障の原因になります。

17. アースラインを切らないでください。

- ・ 故障の原因になります。

⚠ 注意

1. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
2. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 急に本製品が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
3. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モーター焼損など、故障の原因になります。
4. フィルタは濡れた状態で使用しないでください。
 - ・ モーター焼損など、故障の原因になります。
5. 本製品を使用しない場合は、下記すべての条件を満たす場所に保管してください。事故や故障の原因になります。
 - ・ 屋内
 - ・ 水平で安定したところ
 - ・ 子供の手の届かないところ
6. 本製品を縦置きする場合は必ず水平な場所に置いてください。
 - ・ 転倒などの恐れがあります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP 5 6 有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

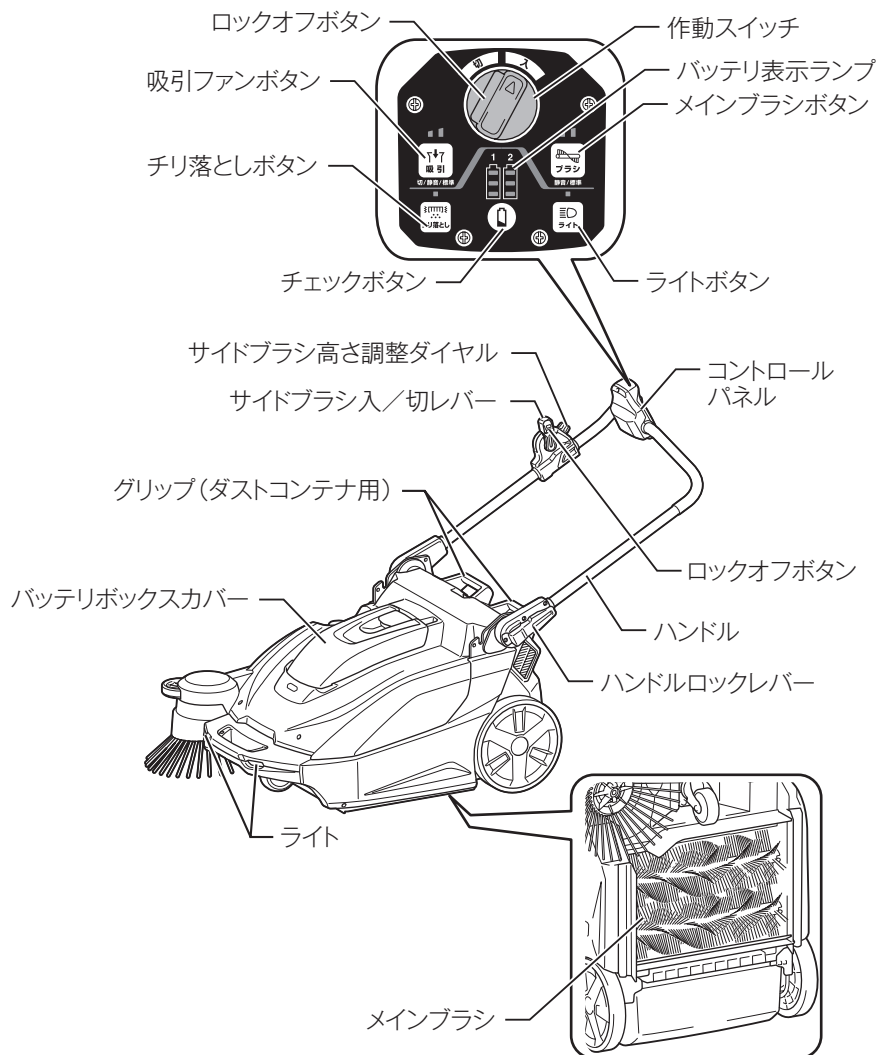
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

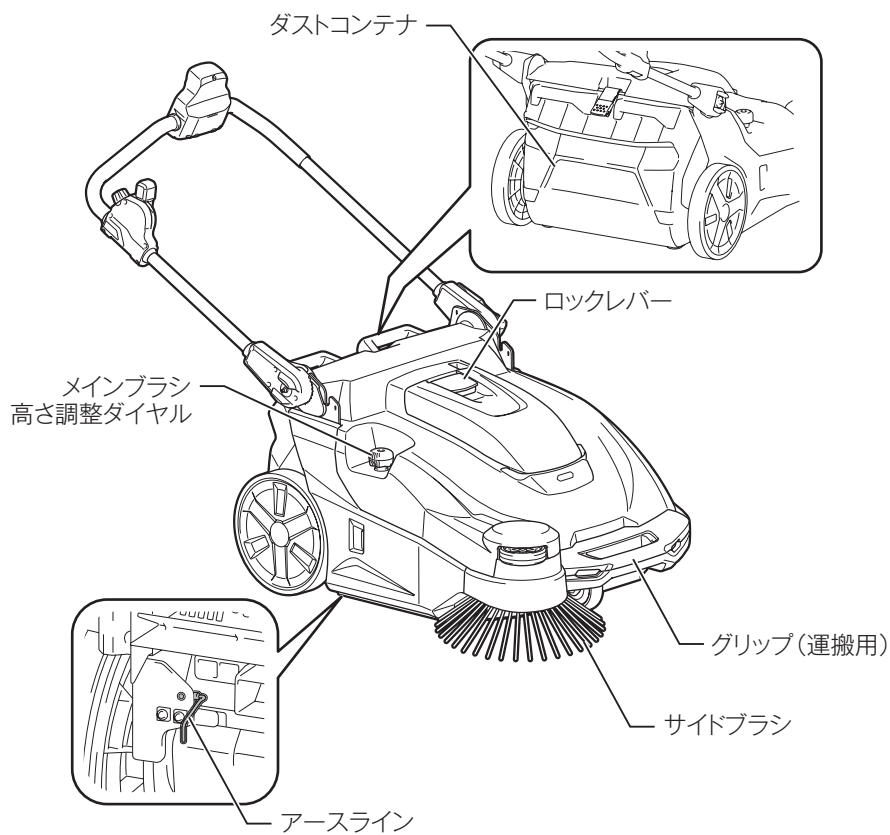
保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具体体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称





別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 多機能アダプタ
部品番号：A-78455
- ・ メインブラシセット品
部品番号：A-78483
※ 1 台分の場合は 2 個必要です。
- ・ ダストバッグ
部品番号：A-78461
- ・ サイドブラシセット品
部品番号：A-78499
- ・ 高性能フィルタ
部品番号：A-69995
- ・ プレフィルタセット品
部品番号：A-78477

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2 口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2 口充電器)	JPADC40WA

◎：使用推奨バッテリー

- ・ 充電器用互換アダプタ (ADP10)
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/
18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。
- ・ ポータブル電源ユニット※ 1、※ 2
PDC01
部品番号：A-69098
※ 1 PDC01 使用時は IPX4 に適合
※ 2 別途 18 V バッテリーが必要です。
- ・ ポータブル電源ユニット
(PDC1200)
部品番号：A-71825
- ・ アダプタセット品 (XGT バッテリー用)
部品番号：A-72241
ポータブル電源ユニット PDC01 または PDC1200 使用時に必要となる
アダプタです。

ご使用前の準備

組み立て

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は、すべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

ハンドルの角度調整

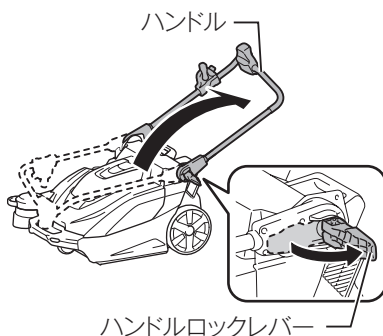
⚠ 警告

ハンドルロックレバーは正しくロックしてください。

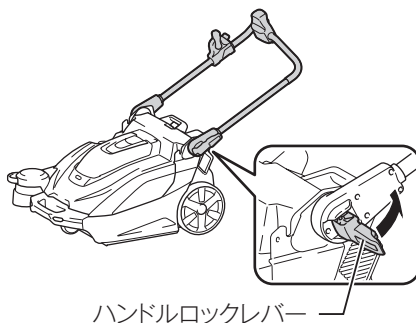
- ・ ハンドルが倒れて転倒し、けがをする恐れがあります。

- ・ 作業しやすいようにハンドルをお好みの角度に調整できます。

1. ハンドルロックレバーのロックを解除します。
2. ハンドルをお好みの角度にします。



3. ハンドルロックレバーをロックします。



サイドブラシの取り付け／取りはずし方法

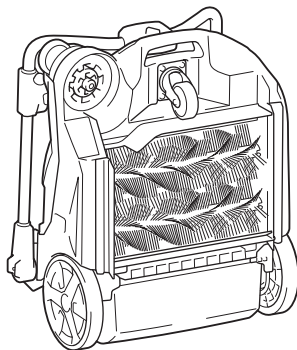
⚠ 警告

サイドブラシは確実に取り付けてください。

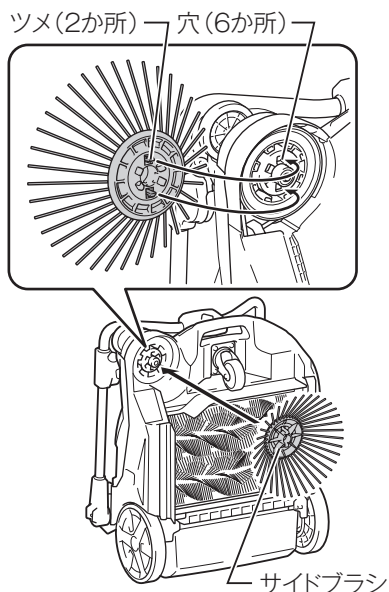
- ・ はずれて人に当たり、けがをする恐れがあります。
- ・ サイドブラシを使用することで清掃幅を広げることができます。壁際を清掃する際にも使用できます。

■ 取り付け方

1. バッテリーを取りはずします。
 - ・ バッテリーの取りはずし方は 31 ページ「取りはずし方」を参照してください。
2. 本製品を縦置きにします。



3. サイドブラシのツメ（2 か所）が取り付け部の穴に合うようにして取り付けます。
ツメ（2 か所）は 6 か所のどの穴でも合わせることができます。

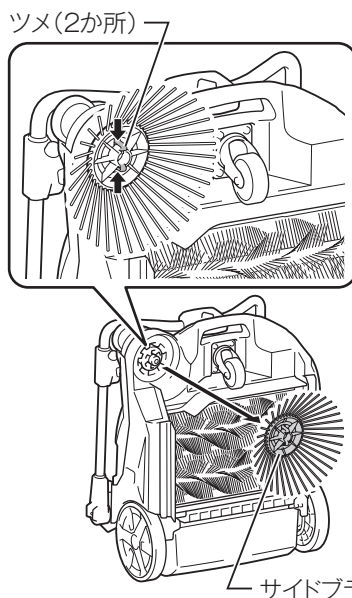


注

- ・ サイドブラシ入／切レバーが「入」（下がっている）の状態でサイドブラシを反時計回りに回すとサイドブラシのツメが穴に合わせやすくなります。

■ 取りはずし方

- ・ サイドブラシのツメのつまみを内側に押しながら、取りはずします。

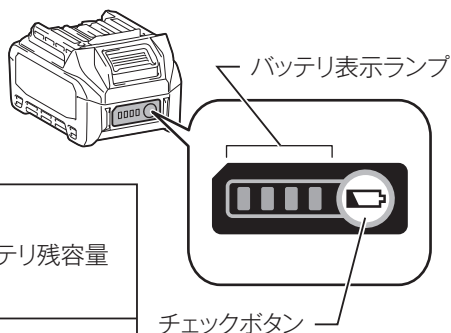


バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ		バッテリー残容量
■:点灯	▒:点滅	
■ ■ ■ ■		75 % - 100 %
■ ■ ■ □		50 % - 75 %
■ ■ □ □		25 % - 50 %
■ □ □ □		0 % - 25 %
▒ □ □ □		充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■		バッテリーの異常 です。

注

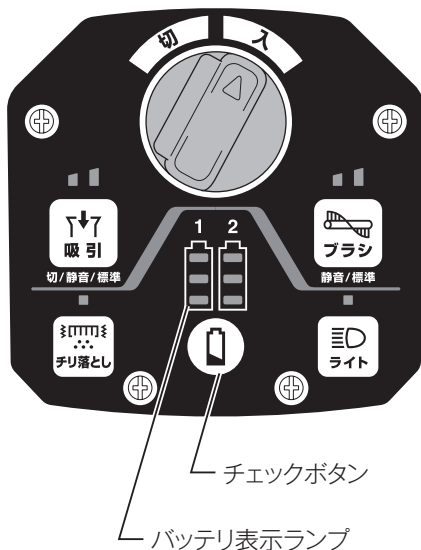
- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

本製品のバッテリー残容量表示機能

- ・ 下記動作の際にバッテリー表示ランプがバッテリー残容量を表示します。バッテリー表示ランプは3秒間点灯します。
 - ・ 作動スイッチを入/切にする。
 - ・ チェックボタンを押す。
 - ・ 使用バッテリーが切り替わる。
- ・ バッテリー表示ランプはバッテリーボックス内の番号に対応しています。



バッテリー表示ランプ			バッテリー残容量
点灯	点滅	消灯	
			50 % - 100 %
			20 % - 50 %
			0 % - 20 %
			充電してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

運搬方法

⚠ 警告

運搬時は、必ず作動スイッチを切り、本製品よりすべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

本製品を持ち上げて運搬する場合は、ダストコンテナ内を空にし、ダストコンテナが正しく固定されていることを確認してください。

- ・ フックがはずれてけがの原因になります。

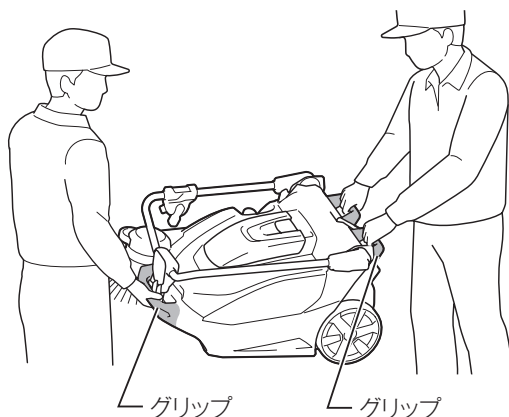
本製品を持ち上げて運搬する場合は、必ず 2 人以上で、安全な体勢で運搬してください。

- ・ 無理に運搬をするとけがの原因になります。

多機能アダプタに取り付けたマックパックやポータブル電源ユニットのハンドルで、本製品の運搬や操作をしないでください。

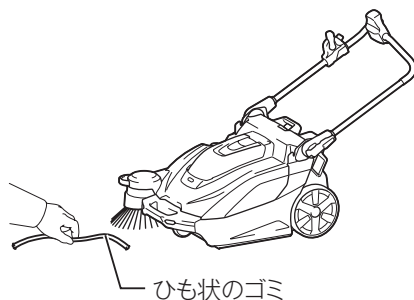
スロープを用いて本製品を荷台に積み込み、積み下ろしする際は、脱輪しないように注意してください。

- ・ 本製品を持ち上げて移動する場合はハンドルを折り畳んでください (58 ページ「本製品の保管」参照)。
- ・ 図のように、グリップ (2 か所) を 2 人で持って、本製品を運んでください。



作業環境について

- ・ 清掃場所にコードやワイヤなどのひも状のゴミが落ちている場合は、事前に取り除いてください。メインブラシやサイドブラシに絡まる可能性があります。



本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中に下記状態になるとモーターが自動停止します。これは保護機能によるものです。

状態	対応	点灯状態		
		 点灯	 点滅	 消灯
本製品の温度が高温になるとモーターが自動停止します。	使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、本製品を冷ましてください。	1 2 		
バッテリーの容量が少なくなると、モーターが自動停止します。	本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。	1 2 		
本製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。	必ず本製品よりバッテリーを取りはずしてから各機能の使用を停止し、過負荷の原因を取り除いてください。	・ ブラシ過負荷  ・ 吸引過負荷  ・ チリ落とし過負荷 		
作動スイッチが「入」の状態ではバッテリーを取り付けると、再起動防止機能が働き、モーターが起動しません。	作動スイッチを「切」にし、再度作動スイッチを「入」にしてください。	 		

- ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(70 ページ参照)に従って点検してください。
 - ・ 再起動防止以外のエラーを解除するには、一度作動スイッチを「切」にしてください。そのあと、上記各項目の対応を行い、下記のいずれかを実施してください。
 - ・ 作動スイッチを「入」にする。
 - ・ コントロールパネルのいずれかのボタンを押す。
- ※作動スイッチを「切」にしたあと、1 分間いずれの操作を行わない場合もエラーが解除されます。

- ・ エラーの有無に関わらず、ライトのオン／オフ操作は可能です。
- ・ エラー発生中に作動スイッチを「入」にしたまま 1 分間操作がない場合、コントロールパネルのすべての表示が消灯しますが、エラーが解除されたわけではありません。
 - ・ ライトが点灯している場合：コントロールパネルのいずれかのボタンを押すと再度エラーが表示されます。27 ページの表に従い、エラーを解除してください。
 - ・ ライトが消灯している場合：省電力モードになっています。コントロールパネルのいずれのボタンを押しても、モータが起動しません。作動スイッチを「切」にし、再度作動スイッチを「入」にしてください。

各種機能

■ 定回転制御

- ・ 作業中負荷がかかっても回転数が下がりにくく、回転数を維持するので高い作業性が得られます。

■ 再起動防止

- ・ 本製品には再起動防止機能を備えています。作動スイッチが「入」の状態でバッテリーを差し込む、または作動スイッチが「入」の状態ですべての表示 LED※から復帰すると起動せず、「吸引ファン表示 LED」と「メインブラシ／サイドブラシ表示 LED」が点滅します。その際は、作動スイッチを「切」にし、再度作動スイッチを「入」にしてください。

※：省電力モードとは全モータが起動していない、ライトが点灯していない、1 分間いずれのボタンも操作がない場合、バッテリーの放電を抑える機能です。

■ ライトの消し忘れ防止

- ・ 以下の 2 つの条件が 30 分間継続されると、ライトは自動で消灯します。
 - ・ いずれのモータも駆動していない（メインブラシ／吸引／チリ落とし）。
 - ・ いずれのボタンも操作がない。

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、作動スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ 本製品が作動し、けがや事故の原因になります。

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

⚠ 注意

バッテリーボックスカバーを開けた状態で使用しないでください。

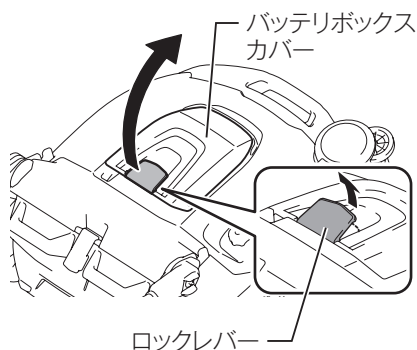
- ・ ホコリや水などが入り、本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。

バッテリーボックスカバーを開閉する際は、指を挟まないように注意してください。

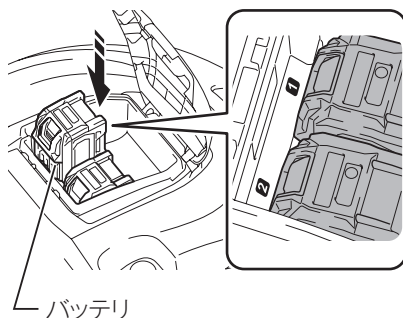
- ・ けがの原因になります。

取り付け方

1. ロックレバーを引き、バッテリーボックスカバーを開きます。

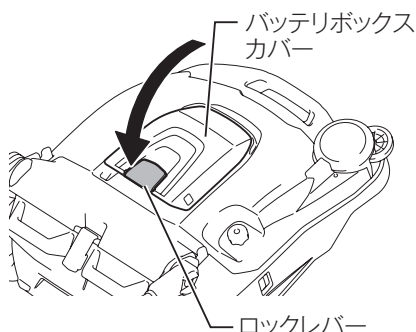


2. バッテリーを本製品の溝に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。



※イラストはBL4080Fの取り付け例です。

3. バッテリーボックスカバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでバッテリーボックスカバーを押します。

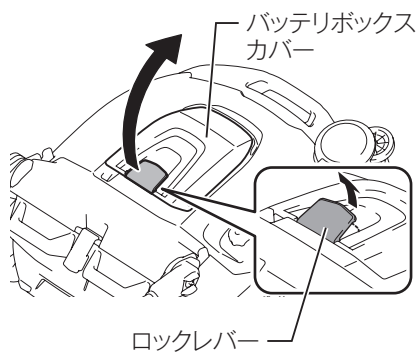


注

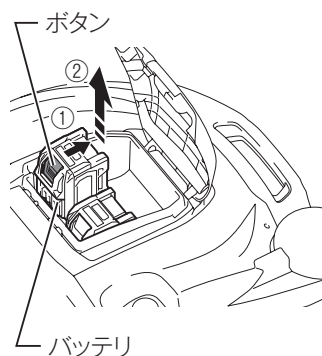
- 本製品はバッテリーを 1 個装着時でも使用可能です。バッテリー "1" と "2"、どちらに差し込んでも使用できます。
- バッテリーを 2 個装着時は、一方のバッテリー容量がなくなると自動でもう一方のバッテリーに切り替わります。
- バッテリー "2" を消費時にバッテリー "1" を取り付けても、バッテリー "2" を消費しきる、あるいは一度作動スイッチを「切」にしない限り、バッテリー "1" には切り替わりません。

取りはずし方

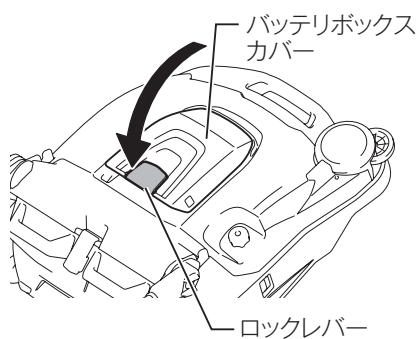
1. ロックレバーを引き、バッテリーボックスカバーを開きます。



2. バッテリーのボタンを①のように矢印方向に押しながら、②のようにバッテリーを引き出します。



3. バッテリーボックスカバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでバッテリーボックスカバーを押します。



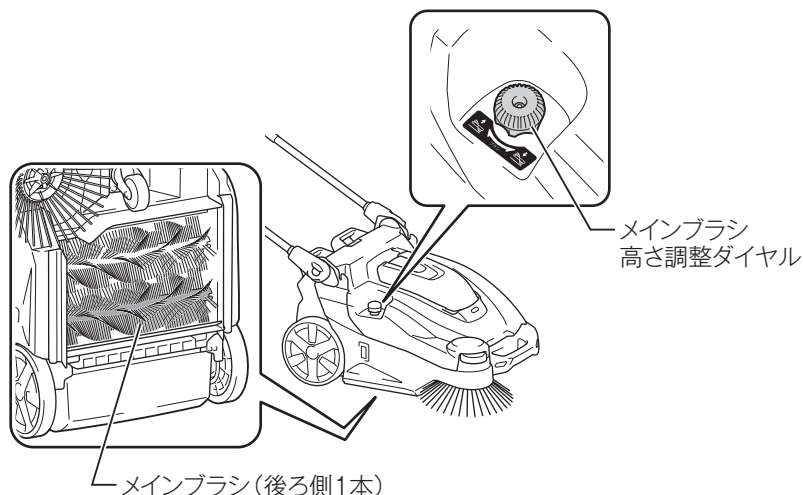
本製品の操作

メインブラシの高さ調整

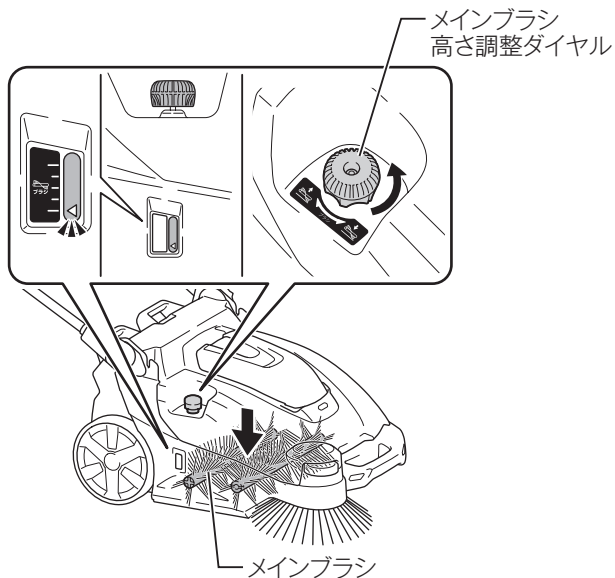
⚠ 警告

高さを調整する際は、すべてのバッテリーを抜いてください。

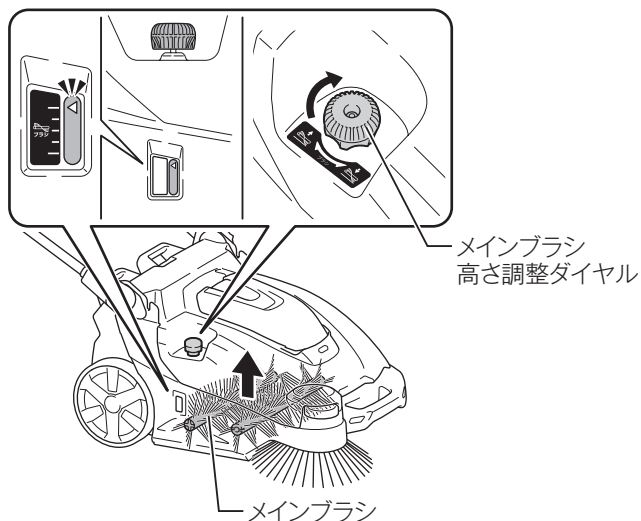
- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。
- ・ メインブラシ高さ調整ダイヤルを回して、メインブラシ（後ろ側 1 本）の高さを調整することができます。
- ・ 清掃する床の状況やメインブラシの擦り減りに応じて、メインブラシの高さを調整してください（34 ページ「メインブラシの接地量の確認方法」参照）。



- ・ メインブラシ高さ調整ダイヤルを矢印の方向に回すと、メインブラシの高さは低くなります（床との接触量が増える）。

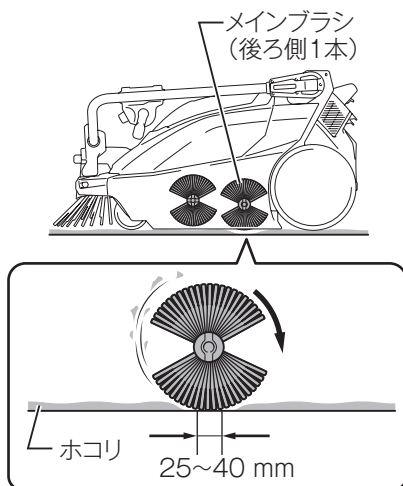


- ・ メインブラシ高さ調整ダイヤルを矢印の方向に回すと、メインブラシの高さは高くなります（床との接触量が減る）。



■ メインブラシの接地量の確認方法

- ・ 下記のような確認場所に本製品を移動させ、メインブラシ（後ろ側 1 本）の接地量を確認してください。
 - ・ 目に見えるホコリ
 - ・ チョークの層
- 1. 本製品の作動スイッチを「入」にし、メインブラシを約 15 ～ 30 秒回転させます。
- 2. 本製品の作動スイッチを「切」にし、移動させます。
 - ・ メインブラシの跡が幅 25 ～ 40 mm の均一な長方形になっていることを確認します。



注

- ・ 適切な高さに調整してください。メインブラシに圧力がかかりすぎると、メインブラシの摩耗が早まり、稼働時間が短くなります。
- ・ 長期間使用して、メインブラシが擦り減ってきたらメインブラシの高さを低くして調整してください。調整できない場合は新しいメインブラシに交換してください。

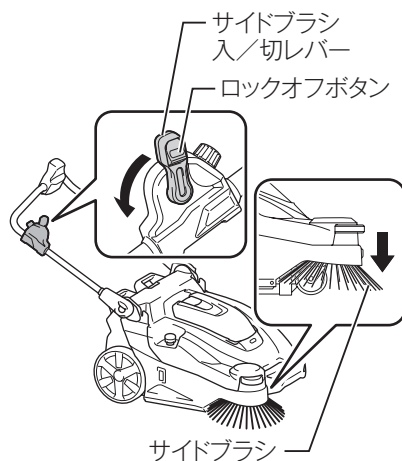
サイドブラシの使い方

⚠ 警告

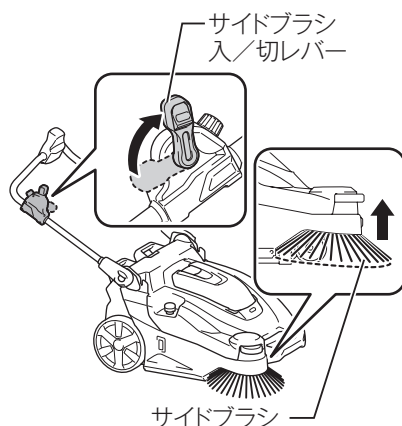
サイドブラシは確実に取り付けてください。

- ・はずれて人に当たり、けがをする恐れがあります。

- ・ サイドブラシを使用すると清掃幅が広がり、壁際まで清掃することもできます。
- ・ サイドブラシ入／切レバーが「入」（下がっている状態）のとき、メインブラシと連動して動きます。
- ・ ロックオフボタンを押しながらサイドブラシ入／切レバーを「入」（下がっている状態）にすると、サイドブラシが床面に近づきます。



- ・ サイドブラシを使用しないときは、サイドブラシ入／切レバーを「切」（上がっている状態）にして、サイドブラシを床面から離します。

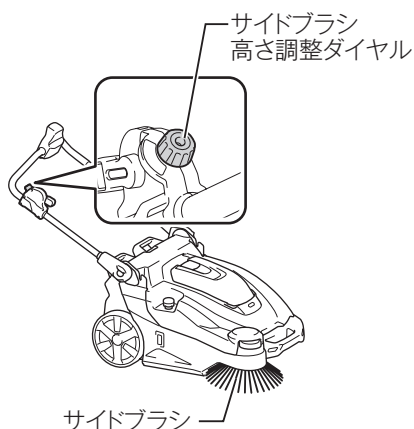


注

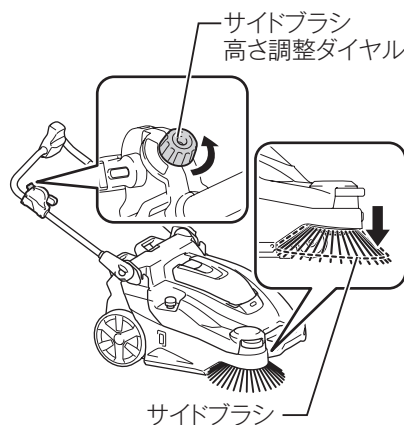
- ・ サイドブラシで巻き上げたゴミは吸引することができません。

サイドブラシの高さ調整

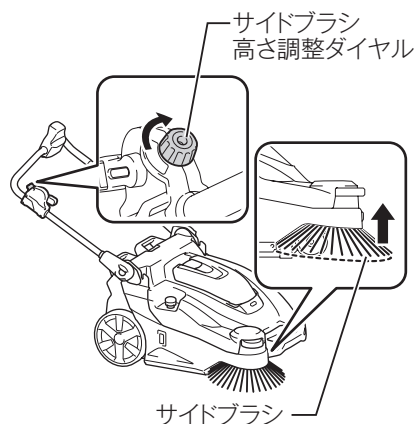
- ・ サイドブラシ高さ調整ダイヤルを回して、サイドブラシの高さを調整することができます。
- ・ 清掃する床の状況やサイドブラシの擦り減りに応じて、サイドブラシをお好みの高さに調整してください。



- ・ サイドブラシ高さ調整ダイヤルを矢印の方向に回すと、サイドブラシの高さは低くなります（床との接触量が増える）。



- ・ サイドブラシ高さ調整ダイヤルを矢印の方向に回すと、サイドブラシの高さは高くなります（床との接触量が減る）。

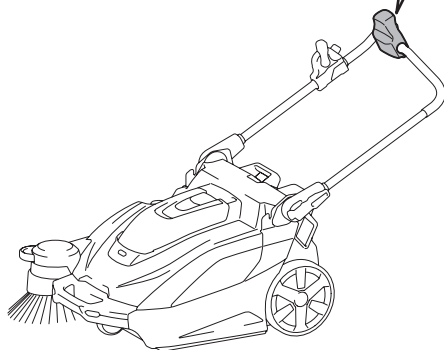
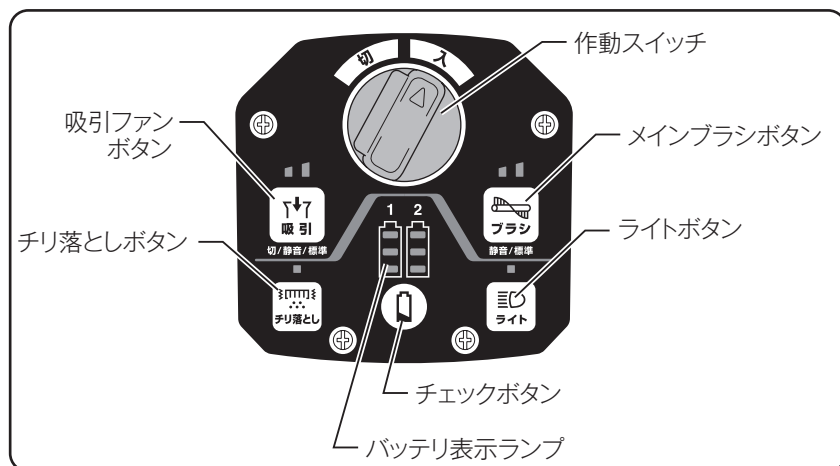


注

- ・ サイドブラシ入／切レバーが「入」（下がっている状態）のときに高さ調整ができます。
- ・ 適切な高さに調整してください。サイドブラシに圧力がかかりすぎると、サイドブラシの摩耗が早まり、稼働時間が短くなります。
- ・ サイドブラシは摩耗します。サイドブラシの高さは定期的に確認し、調整してください。調整できない場合は、新しいサイドブラシに交換してください。

コントロールパネルについて

- ・ 各種機能のボタンを押して、作業シーンに最適なモードを選んでください。
- ・ 各ボタンを押す、または作動スイッチを「入」にすると、設定されているモードに沿ってLED 表示ランプが点灯します。



■ メインブラシのモードを切り替える

- LED 表示ランプが点灯している状態、または作動スイッチが「入」の状態です。「メインブラシボタン」を押すと、ボタンを押すたびにメインブラシのモードが切り替わります。

ボタン／LED 表示	モード	機能
	標準モード	ブラシの回転数は標準です。ゴミが多い場合に最適です。
	静音モード	標準モードより回転数を落とし、静かに清掃したい場合や長時間清掃したい場合に最適です。

注

- サイドブラシの回転数はメインブラシの回転数に連動します。
- 作動スイッチを「入」にすると、前回作動スイッチを「切」にした時のモードで運転を開始します。

■ 吸引モードを切り替える

- LED 表示ランプが点灯している状態、または作動スイッチが「入」の状態です。「吸引ファンボタン」を押すと、ボタンを押すたびに吸引のモードが切り替わります。

ボタン／LED 表示	モード	機能
	標準モード	吸引の強さは標準です。粉じんが多い環境を清掃する場合に最適です。
	静音モード	標準モードより吸引力を落とし、静かに清掃したい場合や長時間清掃したい場合に最適です。
	オフ	吸引をオフにします。吸引が必要ない場合や長時間清掃したい場合に最適です。

注

- 作動スイッチを「入」にすると、前回作動スイッチを「切」にした時のモードで運転を開始します。
- 吸引ファンが動作中にチリ落とし機能をオンにすると、吸引ファンは一旦停止し、チリ落とし機能停止時に再起動します。

■ チリ落とし機能のオン／オフを切り替える

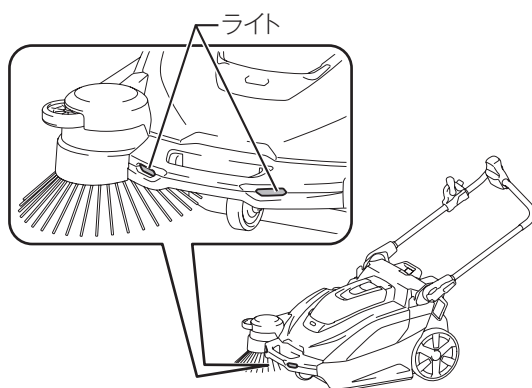
- ・ 作動スイッチの状態に関係なく、バッテリーが差さっている状態で「チリ落としボタン」を押すと、ボタンを押すたびにチリ落とし機能のオン／オフが切り替わります。

ボタン／LED 表示	モード	機能
	オン	チリ落とし機能をオンにします。チリ落とし駆動中は、フィルタに付いた粉じんを自動で落とし、フィルタの目づまりを防ぎます。約 15 秒で自動オフします。
	オフ	チリ落とし機能をオフにします。

■ ライトのオン／オフを切り替える

- ・ 作動スイッチの状態に関係なく、バッテリーが差さっている状態で「ライトボタン」を押すと、ボタンを押すたびにライトのオン／オフが切り替わります。

ボタン／LED 表示	モード	機能
	オン	ライトが点灯します。
	オフ	ライトが消灯します。



■ バッテリ残容量を表示する

- ・ 「チェックボタン」を押すと、バッテリー残容量が表示されます（23 ページ「本製品のバッテリー残容量表示機能」参照）。

作業方法

⚠ 警告

使用中は、本製品を確実に保持してください。また、作動スイッチの入／切、周囲の環境（天気、地面の勾配、人通りなど）に関わらず放置しないでください。

- ・ 本製品が移動し、事故の原因になります。

ダストコンテナ、ダストバッグをはずした状態でブラシを回転させたり、チリ落とし機能を起動させないでください。

回転しているブラシには触れないでください。

- ・ けがの原因になります。

コード、ひも、ワイヤなどブラシに絡まる恐れのあるものを回収しないでください。

- ・ 故障の原因となります。ひも状のゴミは事前に取り除いておいてください。

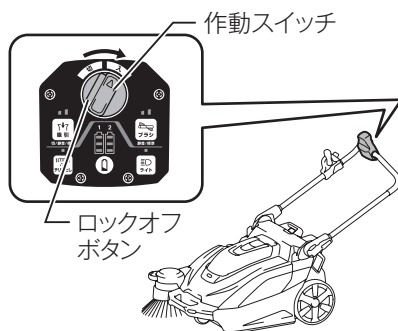
本製品は乾式専用です。水分を含んだものを回収しないでください。

急斜面や滑りやすい床面などの不安定な場所では本製品を使用しないでください。

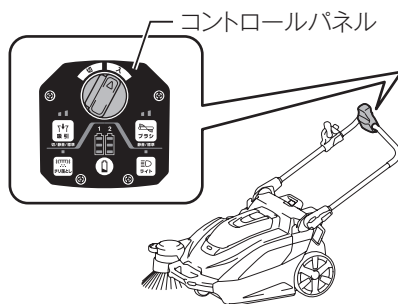
- ・ 操作が不安定になり転倒の恐れがあります。

粉じんがある環境で清掃するときは、マスク、保護メガネ、手袋などの保護具を着用してください。

1. ロックオフボタンを押しながら作動スイッチを「入」の位置にして本製品を作動させます。



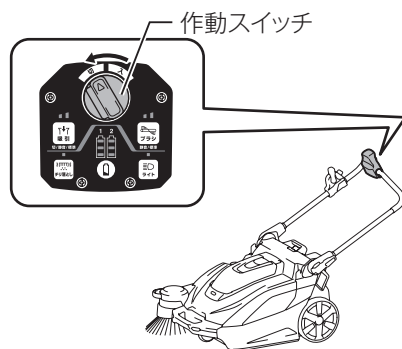
- 必要に応じてコントロールパネルの各種機能ボタンを押して、設定を変更します（38 ページ「コントロールパネルについて」参照）。



- ハンドルを押して清掃を開始します。



- 作動スイッチを「切」の位置にして本製品を停止させます。



注

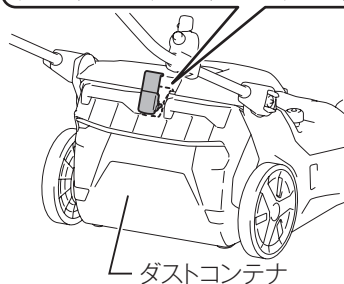
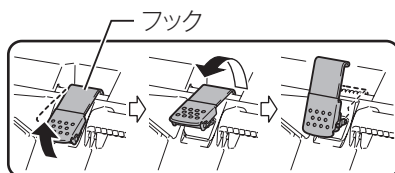
- サイドブラシの使い方については 35 ページ「サイドブラシの使い方」を参照してください。

ダストコンテナの使用方法

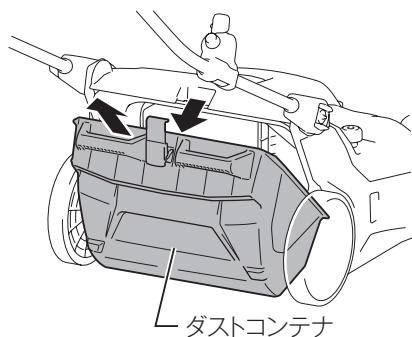
- ・ 回収したゴミはダストコンテナに集められます。
- ・ 清掃方法の詳細は 41 ページ「作業方法」を参照してください。

■ 取りはずし方

1. ダストコンテナのフックを上にあげます。
2. フックを本製品からはずします。

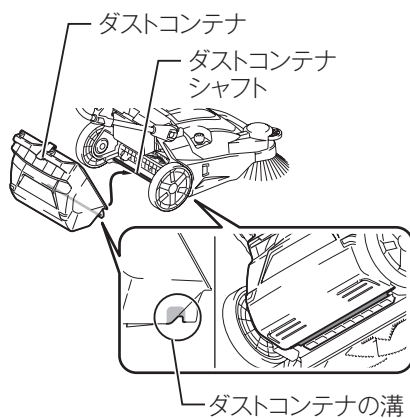


3. ダストコンテナを本製品から取りはずします。



■ 取り付け方

1. ダストコンテナの溝を本製品のダストコンテナシャフトに取り付けます。
2. フックを本製品に引っ掛けてから下げてダストコンテナを固定します。

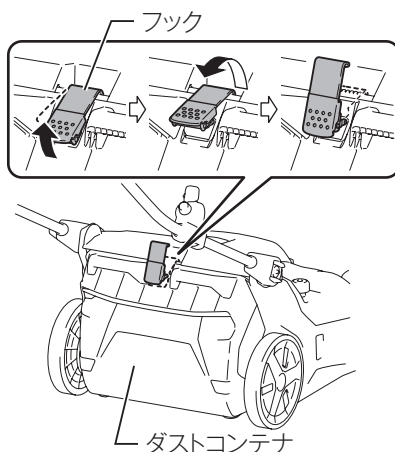


ダストバッグ（別販売品）の使用方法

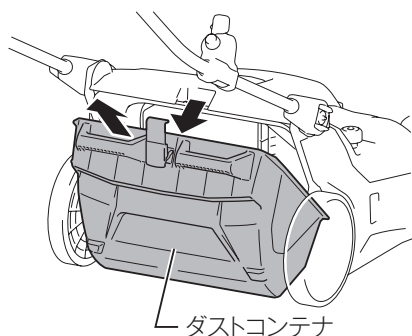
- ・ ダストバッグは容量が大きく、落葉などのかさばるゴミの回収に適しています。
- ・ 落葉などの軽いゴミを回収するときは吸引モードをオンにしてください。吸引モードをオンにすることで、ダストバッグにより多くのゴミを回収することができます。
- ・ 天面のビニル窓から、溜まったゴミの量を確認することができます。
- ・ 清掃方法の詳細は 41 ページ「作業方法」を参照してください。

■ 取り付け方

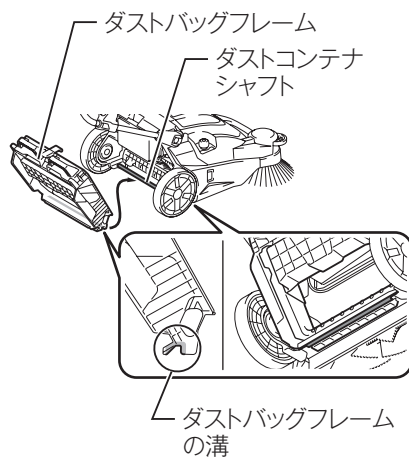
1. ダストコンテナのフックを上にあげます。
2. フックを本製品からはずします。



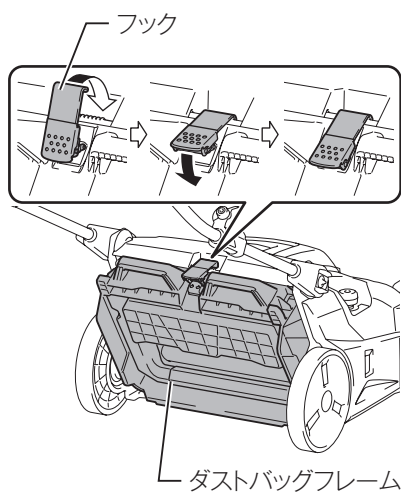
3. ダストコンテナを本製品から取りはずします。



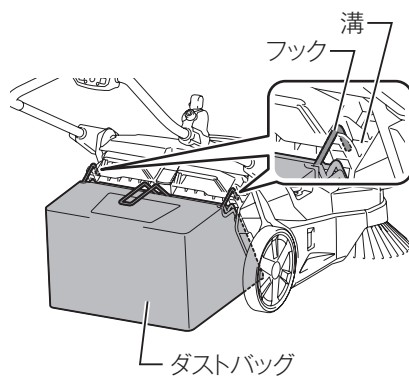
4. ダストバッグフレームの溝を本製品のダストコンテナシャフトに取り付けます。



5. フックを本製品に引っ掛けてから下げてダストバッグフレームを固定します。



6. ダストバッグの左右のフックを取り付け部の溝に合わせて取り付けます。



■ 取りはずし方

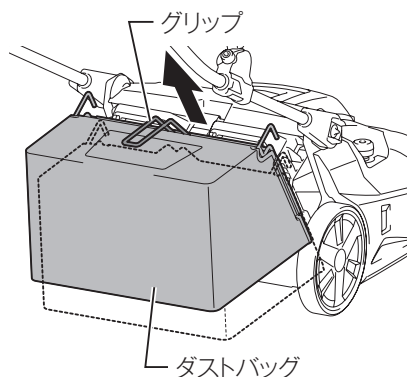
取り付けと逆の手順で取りはずします。

注

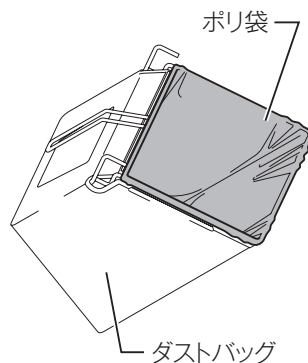
- ・ 粉じんを吸引する場合はダストコンテナを使用してください。ダストバッグはダストコンテナに比べ気密性が高くありません。

■ ポリ袋を取り付ける

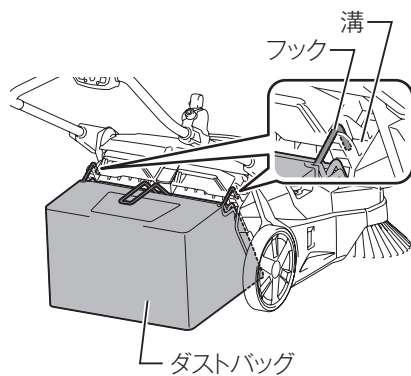
- ・ ダストバッグにポリ袋を取り付けるとゴミを捨てる際に、ポリ袋ごと捨てることができます。
1. グリップを持ち上げて、ダストバッグを取りはずします。



2. ダストバッグに口元周長 1,600 mm 以上のポリ袋（市販の 70 L サイズ）を取り付けます。



3. ダストバッグの左右のフックを取り付け部の溝に合わせて取り付けます。



多機能アダプタ（別販売品）の使用方法

⚠ 警告

多機能アダプタは付属のネジで正しく固定してください。

ポータブル電源ユニット、マックパックは多機能アダプタのラッチやフックで正しく固定してください。

ポータブル電源ユニットを多機能アダプタに取り付ける際は、ポータブル電源ユニットの配線を正しく取り廻してください。

- ・ たわんだ配線が地面に擦って断線し、発煙、発火の恐れがあります。

多機能アダプタに取り付けたポータブル電源ユニットやマックパックのハンドルで、本製品の運搬や操作をしないでください。

- ・ 事故の原因となります。

ポータブル電源ユニット、マックパックを取り付けた状態で本製品を縦置きしないでください。

- ・ 多機能アダプタのロック部が破損し、ポータブル電源ユニット、マックパックが落下する恐れがあります。

多機能アダプタの上に 20 kg を超えるマックパックを載せないでください。

- ・ 多機能アダプタや本製品の破損の原因になります。

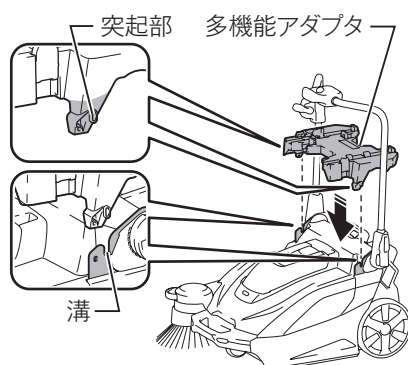
多機能アダプタに載せるマックパックの高さは 315 mm 以内にしてください。また、載せるマックパックはしっかりと固定してください。

- ・ 荷崩れの原因になります。

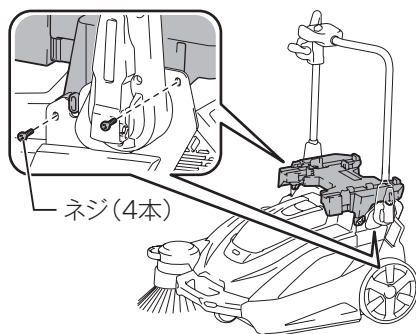
- ・ 多機能アダプタを取り付けることで、ポータブル電源ユニットやマックパックを取り付けることができます。

■ 取り付け方

1. 多機能アダプタの左右にある突起部が、本製品の取り付け部の溝に合うように多機能アダプタを取り付けます。
- ・ 取り付けにくい場合は本製品のハンドルロックレバーを緩めると取り付けやすくなります。その際、ハンドルが倒れるのを防ぐため、あらかじめ折り畳んだ状態にし、多機能アダプタを取り付けてください（58 ページ「本製品の保管」参照）。



2. ネジ (4 本) を締め付けて、多機能アダプタを固定します。



注

- ・ ハンドルの位置によりネジを締め付けにくい場合は、ハンドルを立て、ネジを締め付けられる位置で固定してください。

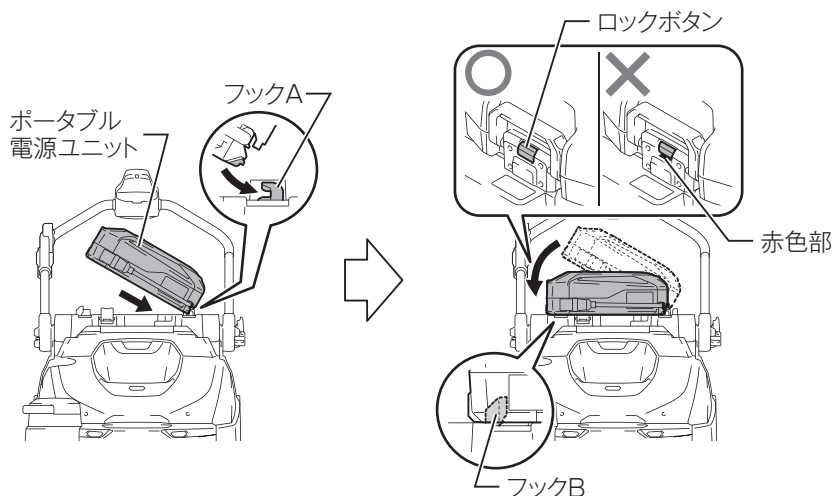
■ 取りはずし方

取り付けと逆の手順で取りはずします。

ポータブル電源ユニット（別販売品）の取り付け／ 取りはずし方法

■ 取り付け方

1. 本製品に多機能アダプタ（別販売品）を取り付けます（49 ページ「多機能アダプタ（別販売品）の使用方法」参照）。
 2. ポータブル電源ユニットの下端をフックで固定します。
 - ・ ポータブル電源ユニットのハンドルを軽く持ち上げて、本製品からはずれないことを確認してください。
- ・ PDC1200 の場合
- ・ ポータブル電源ユニットの下端をフック A に引っ掛けて、フック B で固定します。

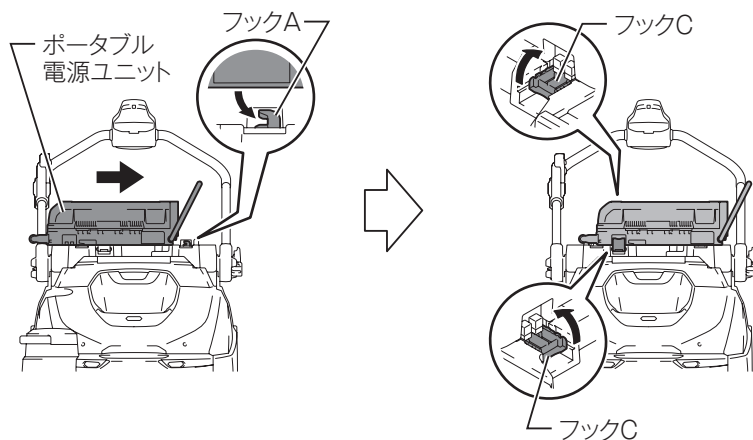


注

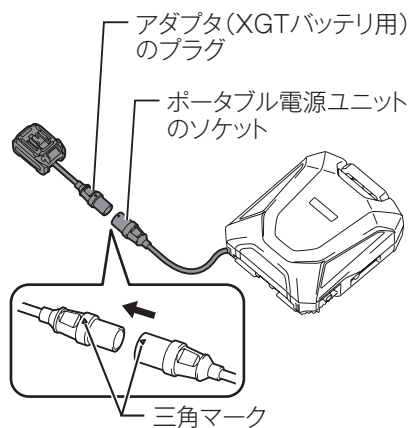
- ・ ロックボタンの赤色部が見えているときは、ポータブル電源ユニットは完全にロックされていません。

・ PDC01 の場合

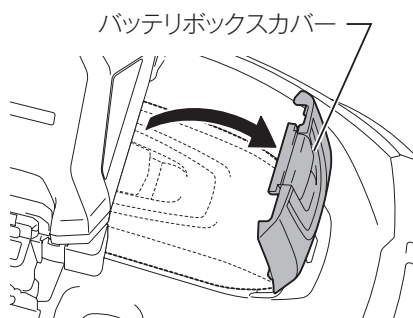
- ・ ポータブル電源ユニットの下端をフック A に引っ掛けて、フック C で固定します。フック B は使用しません。



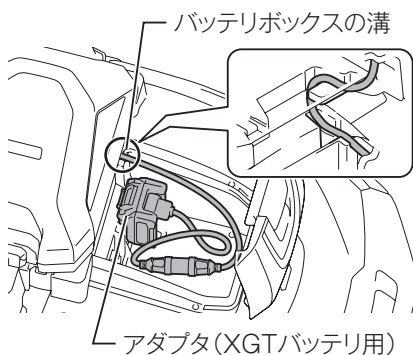
3. ポータブル電源ユニットのソケットとアダプタ (XGT バッテリ用) のプラグの三角マークを合わせ、奥まで確実に差し込みます。



4. バッテリーボックスカバーを開けます。



5. バッテリーボックスおよび多機能アダプタの溝を通るようにコードを取り廻し、アダプタ (XGT バッテリー用) をバッテリー差し込み口の溝に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

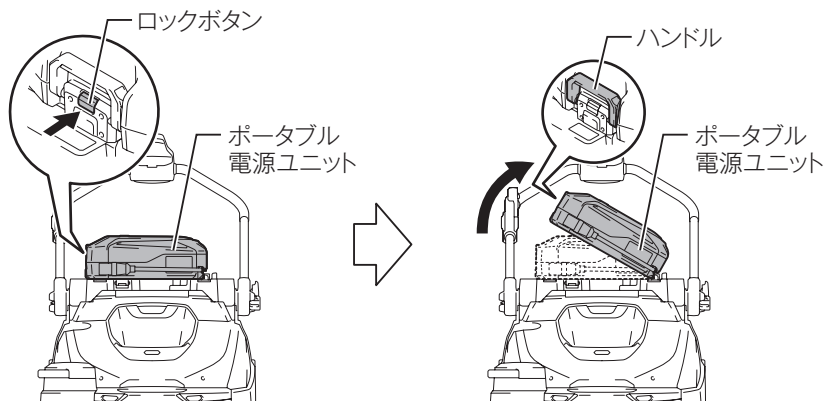


6. バッテリーボックスカバーを閉じます。

■ 取りはずし方

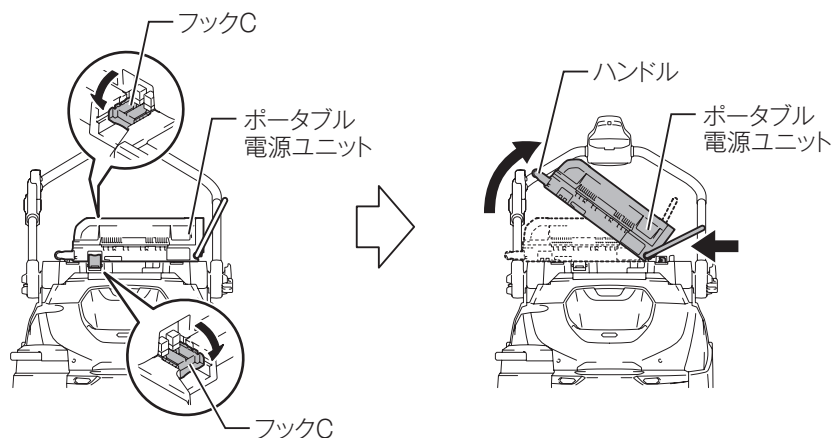
・ PDC1200 の場合

1. アダプタ（XGT バッテリ用）のプラグからポータブル電源ユニットのソケットを引き抜き、コードを取り出します。
2. ポータブル電源ユニットのロックボタンを押しながら、ポータブル電源ユニットのハンドルを持ち上げます。



・ PDC01 の場合

1. アダプタ（XGT バッテリ用）のプラグからポータブル電源ユニットのソケットを引き抜き、コードを取り出します。
2. フック C をはずし、ポータブル電源ユニットを引き出してから持ち上げます。



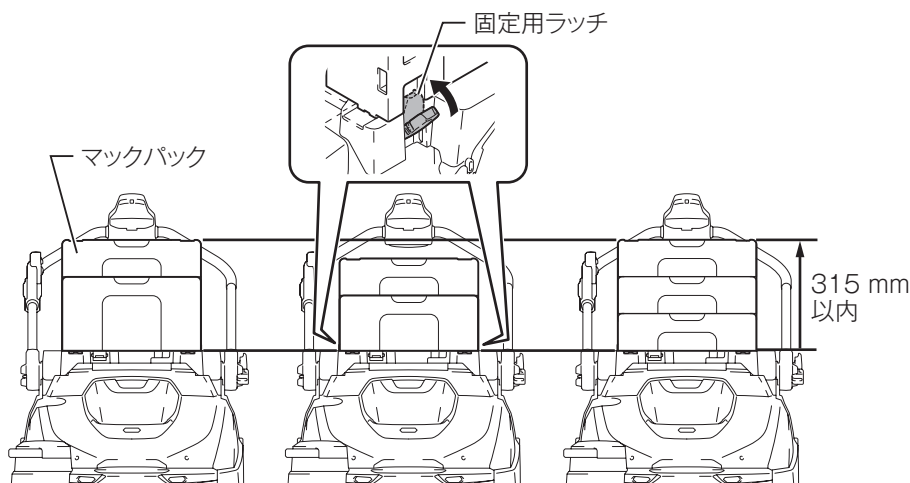
注

- ・ ソケットをコネクタ接続製品のプラグからはずす際に、コードを引っ張らないでください。また、コードを持って運ばないでください。コードが断線するなど、損傷の原因になります。

マックパック（別販売品）の取り付け／取りはずし方法

■ 取り付け方

1. 本製品に多機能アダプタ（別販売品）を取り付けます（49 ページ「多機能アダプタ（別販売品）の使用法」参照）。
2. 左右 2 つの固定用ラッチをマックパックの取り付け部にしっかりはめて、マックパックを固定します。



■ 取りはずし方

左右 2 つの固定用ラッチを解除して、マックパックを取りはずします。

使用後の取り扱い

⚠ 警告

点検、整備の際には必ず作動スイッチを切り、本製品よりすべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがや事故の原因になります。

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際は、必ず保護マスクや手袋などの保護用具を着用してください。

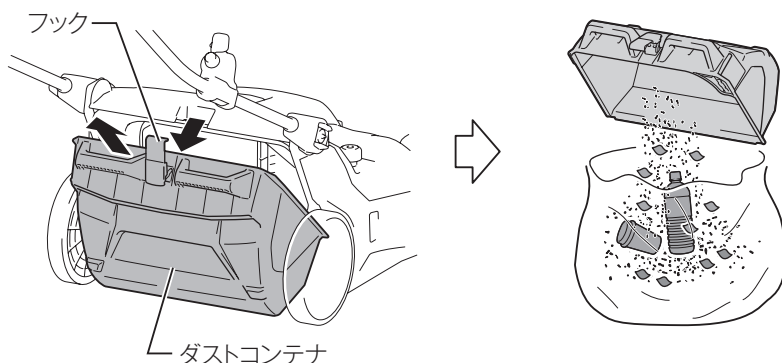
- ・ 鋭利なゴミに触れ、けがの恐れがあります。

ゴミは溜めすぎないように、早めに捨ててください。

- ・ 吸引力の低下につながります。

■ ダストコンテナの場合

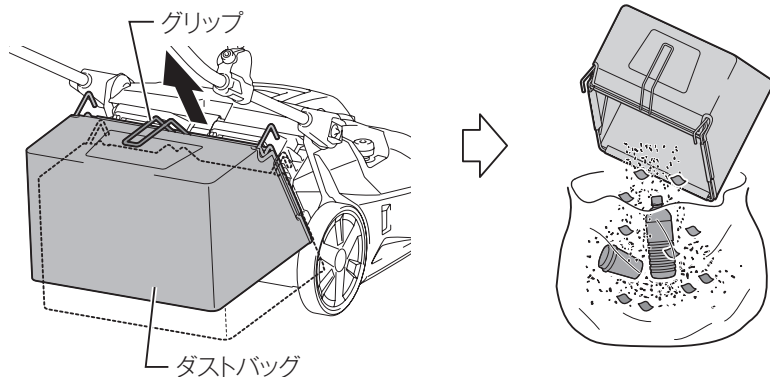
1. フックをはずし、ダストコンテナを本製品から取りはずします。
2. ダストコンテナごと持ち上げてゴミを捨てます。



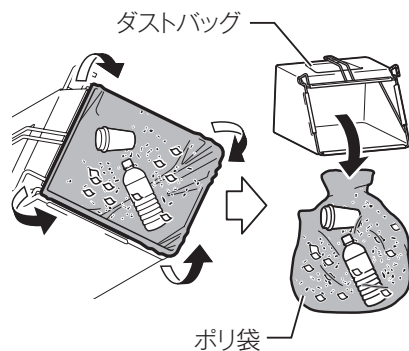
3. ゴミ捨て後、ダストコンテナを本製品に取り付けます。フックが正しく閉まっていることを確認してください。

■ ダストバッグ（別販売品）の場合

1. グリップを持ち、上に引き上げ取りはずします。
2. ダストバッグごと持ち上げてゴミを捨てます。



- ・ ダストバッグをご使用の際、内側にポリ袋を取り付けておくと、ポリ袋ごとゴミを捨てることができます。



3. ゴミ捨て後、ダストバッグを本製品に取り付けます。フックが正しく溝に合っていることを確認してください。

本製品の保管

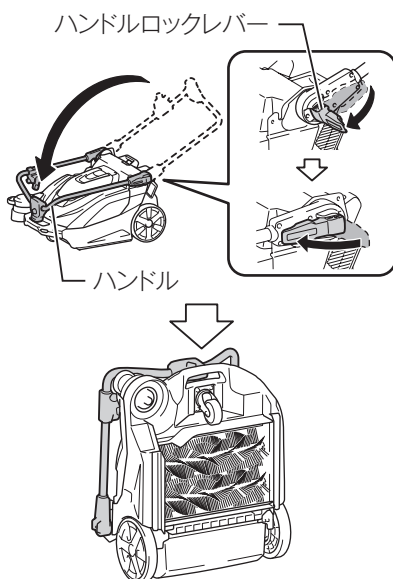
⚠ 警告

保管時は、必ず電源を切り、すべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがや事故の原因になります。

- ・ 保管時、点検時に本製品を縦置きにする場合または本製品を持ち上げて移動する場合はハンドルを折り畳んでください。

1. ハンドルロックレバーのロックを解除します。
2. ハンドルを折り畳みます。
3. ハンドルロックレバーをロックします。



⚠ 警告

保守、点検の際は、必ずすべてのバッテリーを抜いてください。

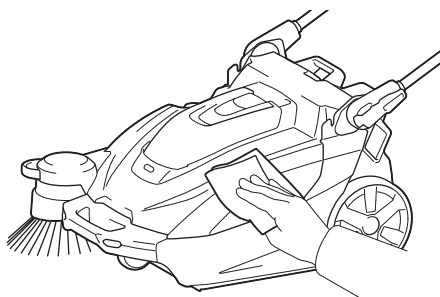
- ・ 本製品が作動し、けがや事故の原因になります。

保守、点検の際は、必ず保護メガネと手袋を装着してください。

保守

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布や薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

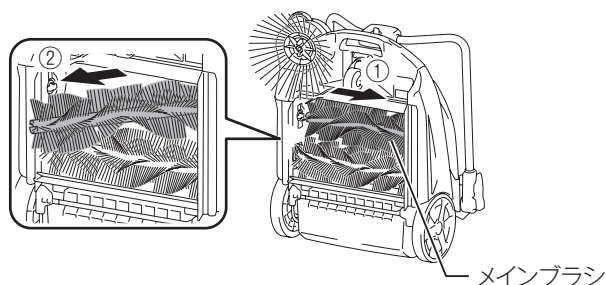


注

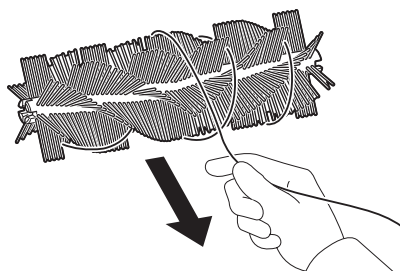
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

メインブラシの清掃

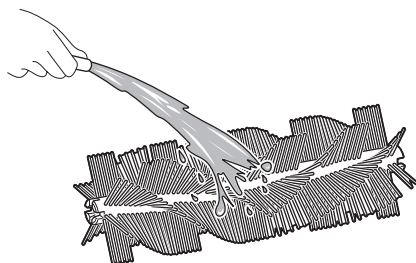
1. ハンドルを折り畳み、本製品を縦置きします（58 ページ「本製品の保管」参照）。
2. メインブラシを①矢印の方向に押し込みます。
・ メインブラシの反対側が②矢印の方向にはずれます。



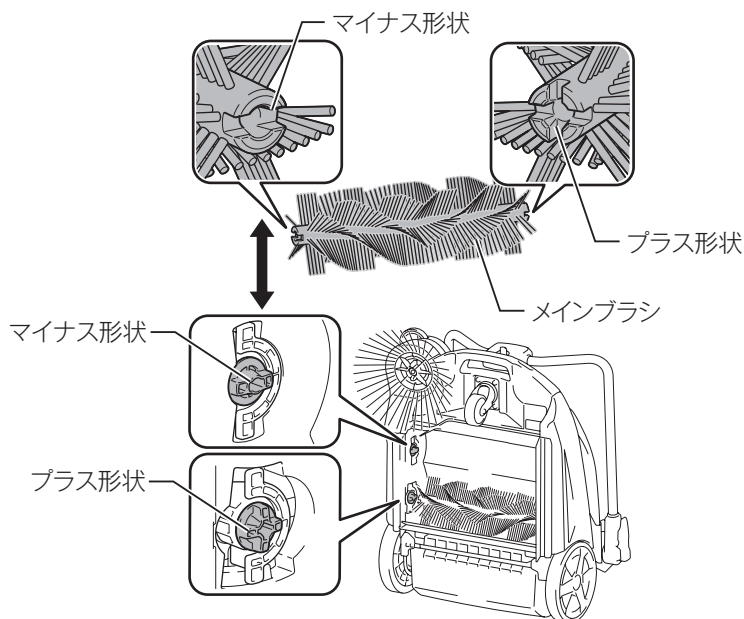
3. 押し込んだ反対側からメインブラシを取りはずします。
4. 同様にもう一つのメインブラシも取りはずします。
5. ひも状のゴミが付着している場合は手で取り除きます。



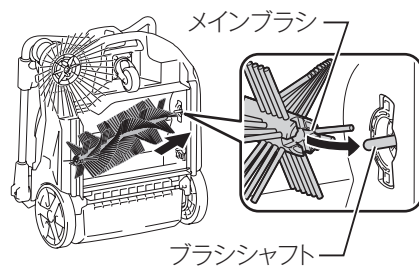
6. ホコリを払い落とし、汚れがひどい場合は水洗いします。水洗い後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



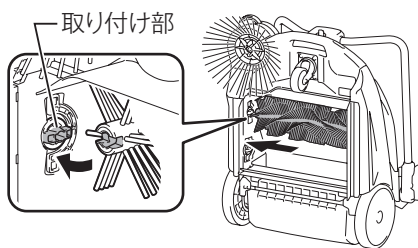
7. メインブラシの形状が本製品取り付け部の形状に合う向きにメインブラシを持ちます。
- 形状が合わない場合は、メインブラシの左右の向きを反対にすると形状が合います。



8. メインブラシを本製品のブラシシャフトへ差し込みます。



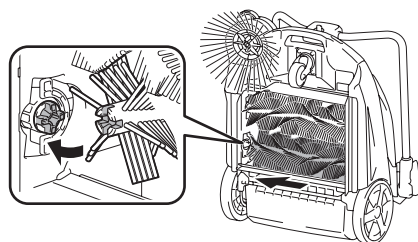
9. 図の矢印の方向にメインブラシを本製品取り付け部にはめて固定します。



注

- ・ 形状が合っていないとメインブラシを取り付けることができません。その場合は手順 7 よりやり直してください。

10. もう一方のメインブラシも同様に取付けます。

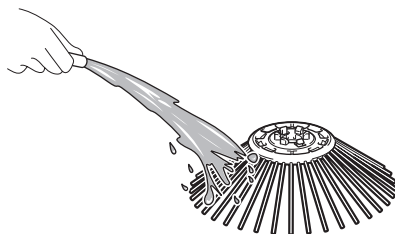


注

- ・ メインブラシが正しく固定されていることを確認してください。
- ・ メインブラシ取り付け後は、必ず形状に合わせて正しく噛み合っていることを確認してください。
- ・ メインブラシの毛が摩耗して短くなってきたら新しいものに交換してください。

サイドブラシの清掃

1. サイドブラシを取りはずします（20 ページ「サイドブラシの取り付け／取りはずし方法」参照）。
2. ホコリを払い落とし、汚れがひどい場合は水洗いします。水洗い後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



3. サイドブラシを取り付けます（20 ページ「サイドブラシの取り付け／取りはずし方法」参照）。

注

- ・ サイドブラシの毛が摩耗して短くなってきたら新しいものに交換してください。

フィルタの清掃

⚠ 警告

フィルタは正しくセットし、取りはずしたまま本製品を使用しないでください。また、フィルタが破損していたり、濡れたまま使用しないでください。

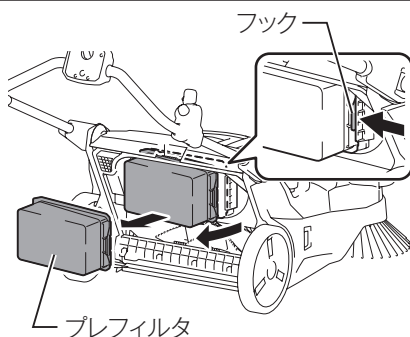
- ・ モータ焼損など、故障の原因になります。

フィルタは洗浄して繰り返し使用できます。吸引力を維持するために、フィルタは定期的に清掃してください。フィルタを清掃しても十分な吸引力が発揮されないときは新しいフィルタに交換してください。

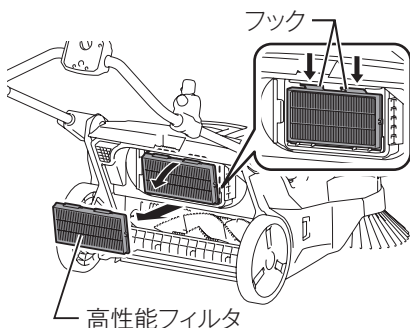
フィルタの損傷を防ぐため、清掃時に以下に類似するものは使用しないでください。

- ・ エアダスタ
- ・ 高圧洗浄機
- ・ 金属ブラシのような固い素材のもの

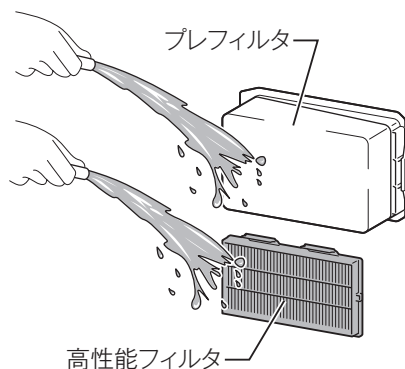
1. ダストコンテナを取りはずします (56 ページ「ゴミの捨て方」参照)。
2. プレフィルタのフックを図の矢印の方向に押し込みながら取りはずします。



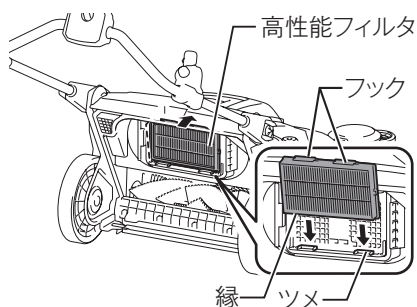
3. 高性能フィルタのフックを図の矢印の方向に押し込みながら取りはずします。



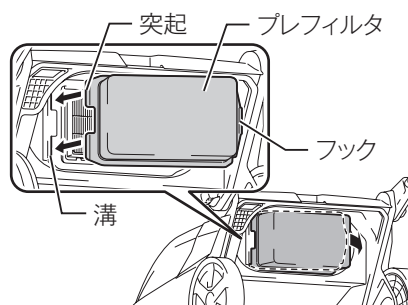
4. ホコリを払い落とし、汚れがひどい場合は水洗いします。水洗い後はプレフィルタ、高性能フィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



5. 高性能フィルタを取り付ける際は、高性能フィルタの縁を本製品側のツメに引っ掛け、押し込みます。フックがしっかりと固定されていることを確認してください。



6. プレフィルタを取り付ける際は、プレフィルタの突起を本製品側の溝に差し入れ、押し込みます。フックがしっかりと固定されていることを確認してください。

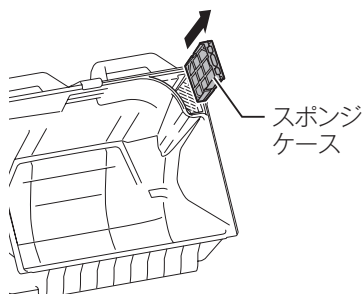


スポンジフィルタの清掃

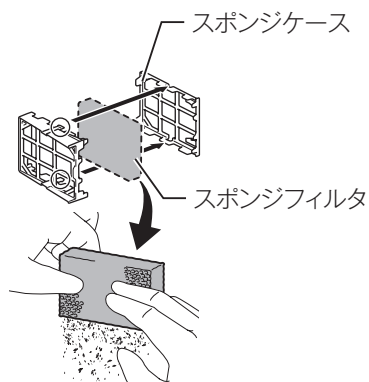
⚠ 警告

フィルタは清掃後、必ずダストコンテナに正しくセットしてください。また、水洗い後は完全に乾燥させてからご使用ください。

- ・ スポンジフィルタにゴミが詰まったら、ダストコンテナから取り出して拭き取るか水洗いしてください。
1. ダストコンテナを取りはずします (56 ページ「ゴミの捨て方」参照)。
 2. ダストコンテナからスポンジケースを取りはずします。



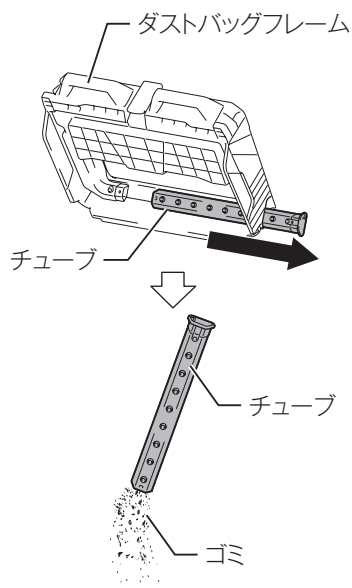
3. スポンジケースを開けて、スポンジフィルタを取りはずします。
4. ホコリを払い落とし、汚れがひどい場合は水洗いします。水洗い後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



5. スポンジフィルタをスポンジケースに取り付けます。
6. スポンジケースをダストコンテナに取り付けます。

チューブの清掃

- ・ ダストバッグ（別販売品）を使用すると、砂や小石、小さな落葉などがチューブに詰まる可能性があります。
1. ダストバッグフレームからチューブを引き抜きます。
 2. チューブからゴミを取り除きます。



3. 清掃後、チューブをダストバッグフレームに取り付けます。

点検

定期点検

本製品を長持ちさせ、安全に使用していただくために、下記に従って定期的に点検を実施してください。

■ 日次点検

- ・ ダストコンテナ：中身を空にしてください。
- ・ フィルタ類：汚れている場合は、清掃してください。
- ・ ブラシ類：ひも状のゴミが絡まったら取り除いてください。
- ・ 制御部と可動部：スムーズに動くことを確認してください。

■ 週次点検

- ・ メインブラシの高さ：高さが不適切な場合は、再調整してください。
- ・ ネジ（多機能アダプタを使用する場合）：緩んでいる場合は、ネジを締めなおしてください。

消耗品の交換・補充

ブラシの交換

■ メインブラシの交換

- ・ ゴミの取り残しがメインブラシの高さ調整をしても変わらない場合はメインブラシを交換してください。メインブラシの取り付け、取りはずしは 60 ページ「メインブラシの清掃」を参照してください。

■ サイドブラシの交換

- ・ 壁際にあるゴミの取り残しがサイドブラシの高さ調整をしても変わらない場合はサイドブラシを交換してください。サイドブラシの取り付け、取りはずしは 20 ページ「サイドブラシの取り付け／取りはずし方法」を参照してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

作動スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

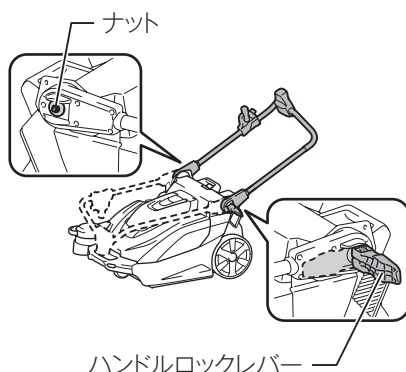
↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 27 ページ参照。

ハンドルのガタツキが大きい場合

- ・ ハンドルロックレバーを正しくロックしてもハンドルのガタツキが大きい場合は、ハンドルロックレバーの反対側にあるナットを締めて調整してください。ガタツキがあるまま使用するとハンドルが倒れて転倒し、けがをする恐れがあります。



ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、本製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

本製品の廃棄

- ・ 本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。

881K27-3
CRE

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）